

クローズアップ



おいしいね前橋産畜産物

2月28日、グリーンドーム前橋で畜産物フェアを開催しました。焼き豚、卵、牛乳の無料配布や料理体験などを実施。クイズ大会には、たくさんの親子が真剣な表情で挑戦しました。前橋産の卵や豚肉の即売も行われ、みんなでおいしく楽しい1日を過ごしました。

3月6日、消防ふれあい広場を開催。消防局にたくさんの親子連れが訪れました。子どもたちは消防服を試着し、気分はすっかり消防士に。放水体験や応急手当で、ミニ消防車の試乗などを行い、消防について楽しく学びました。



消火体験で防火意識高める

3月3日から前橋文学館で、展覧会「伝承細工・つるし雛と春の歌」を開催中。訪れた人たちは、えとや縁起物をかたどった、華やかなつるしびなに見入っていました。展示は22日まで行われます。



桃の節句を彩る伝承細工

平成22年第1回定例会市議会が3月2日に開会しました。議長に岡田修一議員、副議長に丸山貞行議員を新たに選出。会期は26日までで、来年度的一般会計予算など、52議案を審議しています。



岡田修一議長



丸山貞行副議長

正副議長が決まりました

剣道の普及と発展に長年尽力した功績が評価され、「剣道有功賞」が贈られた。本年度は全国で57人が受賞し、本県からは筑井さんが唯一選ばれた。

「受賞の知らせを聞いた時は本当にびっくりしました。まさか自分がいただけるとは、夢にも思っておりませんでした。最高の名誉です」

現在教士7段の筑井さんが竹刀を握ったのは15歳の時。馬庭念流の道場であった弘武倶楽部に入門し、道場主の北爪源求先生に指導を受けたのがきっかけ。めきめき上達し、昭和13年に剣道2段に合格した。以降も稽古に励み続けている。

定年退職を機に、自宅敷地内に道場を開設。修行した道場から名をもらい「弘武館筑井剣道場」と命名

した。道場などで指導した教え子は30年間で300人を超えた。

「子どもたちには、剣道の技術の習得だけでなく、相手の気持ちや痛みが分かる人づくりに重点を置き教えてきました」と自らの指導を振り返る。

今回の受賞を聞いた友人や教え子たちから、ひっきりなしにお祝いの電話がかかってきたという。

「ここまでやってこられたのは、良い先輩や仲間巡りに出会ったこと、家族の支えがあったからです。本当にありがたいことです。受賞を励みに、これからも生涯精進したいと思っています」

いつまでも剣道に対する情熱を燃やし、元気に竹刀を振って、剣道の素晴らしさを広め続けてほしい。

いきいき まえばし人



全日本剣道連盟から「剣道有功賞」
筑井 吉雄さん・90歳
上増田町

わたしたちの学校 ニュース

より良い学校のために
生徒会長 高野 鞠さん



小学生にも的確なアドバイス

鎌倉中の生徒会スローガンは、「一人はみんなのために、みんなは鎌倉中のために」です。本校には独自の活動が多数あります。全生徒が明るく、より良い学校をつくりたいという思いを持ち、さまざまな活動に取り組んでいます。そのうちの1つ、「ピア・サポート活動」は伝統ある活動です。「ピア」とは仲間という意味。仲間を支えるために研修を重ね、学校生活でさりげなく友達を支援するサポーターを目指します。また、1年生が出身小学校に出向き、入学前の児童に中学校生活への不安解

消のために出張ワイド相談も実施。人とのより良い接し方を学んだり、生活の中での悩みや不安を少なくしたりするこの活動を受け継ぎ、その精神を広めたいと考えています。

また、地域の人たちとの交流も大切にしています。「あいさつ運動」では、先生や生徒をはじめ、地域の人もボランティアとして参加。校門で交わすあいさつから、毎朝気持ち良くスタート。地域の人の協力を得ながら、お互いに気持ちの良いあいさつができる活気ある学校を目指して、この運動を続けていきたいと思っています。

これからも一人一人が互いに支え合い、磨き合い、高め合える関係を築くことで、鎌倉中がより良い学校になるよう努めていきます。



朝は元気なあいさつから